

小形調光器

会議室や応接室、店舗など、部屋単位での調光演出に最適。
用途や室内の雰囲気に応じて、思いどおりの“あかり”へスムーズに調光します。

小形調光器は、通常のタンブラスイッチ（壁スイッチ）のように壁に取り付けるだけの省施工。

調光ツマミで、あかりを自由にコントロールできます。オフィスの会議室や応接室、店舗等の照明から一般住宅の居間等の照明まで、小規模スペースに幅広く対応します。

信号制御調光器

照明器具は必ず当社製連続調光用器具をご使用ください。

連続調光用器具（インバータ）を自由に調光できます。（調光範囲は器具により異なります）

15A用 壁埋込タイプ

- 2個用スイッチボックスに取り付けられる壁埋込形の小形調光器です。
- 明るさの調整範囲は、連続調光用器具の種類によって変わります。
- 調光したままでの点滅も可能です。

信号制御調光器



DFP1015A (100V用)

△ 希望小売価格 **34,000**円(税抜)

- 幅 116
- 高さ 120
- 取付 2個用スイッチボックスに適合

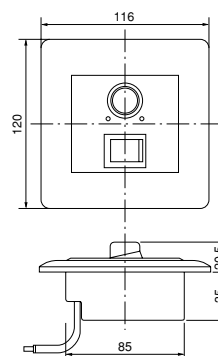
調光信号線 : φ0.9~φ1.2 CPEV-1P
(総配線長100m以内)

DFP2015A (200V用)

△ 希望小売価格 **34,000**円(税抜)

- 幅 116
- 高さ 120
- 取付 2個用スイッチボックスに適合

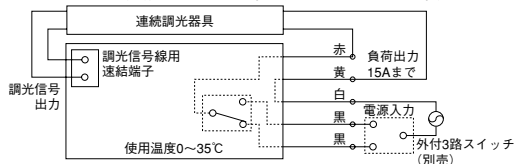
調光信号線 : φ0.9~φ1.2 CPEV-1P
(総配線長100m以内)



接続図

DFP1015A (100V)

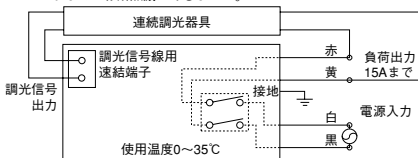
2ヶ所点滅の場合：下図の通り結線してください。
1ヶ所点滅の場合：黒線どちらか1本だけを結線してください。
(黒線1本があります。必ず絶縁処理してください。)



接続図

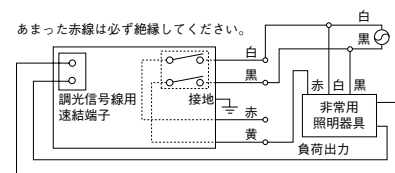
DFP2015A (200V)

1ヶ所点滅：下図の通り結線してください。
※DFP2015Aは2ヶ所点滅はできません。



接続図

蓄電池内蔵形非常用照明器具接続の場合



信号制御調光器への接続台数

- 信号制御調光器1台に対する連続調光用器具の最大接続数を以下に示します。

連続調光用器具	Easyeco super II 高出力タイプ			Easyeco super II 標準出力タイプ		FLR110W		FHT32W	FHT42W			FHF86W	
	1灯用 PX、PZ	2灯用 PX、PZ	3灯用 PX、PZ	1灯用 EDG	2灯用 EDG	1灯用 EDK	2灯用 EDK	1灯用 EDK	1灯用 EDK	3灯用 EDK	4灯用 EDK	1灯用 APY	2灯用 APY
(インバータ数)	1	1	2	1		1	2	1	1	2	2	1	2
信号制御調光器	DFP1015A	29台	15台	10台	36台	18台	14台	7台	38台	30台	10台	7台	—
	DFP2015A	50台	30台	20台	50台	37台	29台	14台	50台	50台	20台	15台	34台

※上記表の信号制御調光器DFP1015A・DFP2015Aの接続台数は、スイッチから器具電源を取るスイッチ容量の制限による接続可能台数と、信号制御調光器の最大取付け台数(50台)のどちらか少ないほうの接続可能台数を掲載しています。

15A (スイッチ容量)

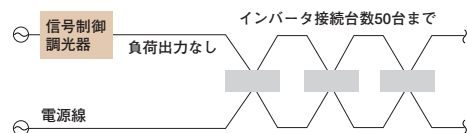
インバータ入力電流×インバータ台数

と、

50台

インバータ台数

のどちらか少ない台数



Easyeco super IIは、Hi/FL/FLRランプ共用のため、組み合わせるランプの種類により入力電流が変わります。

上記表以外のランプ組み合わせによる接続台数は、上記の計算式によります。

ただし、照明器具の電源を信号制御調光器のスイッチから取らない場合の接続台数は、インバータ台数50台までとなります。